

研究課題番号	S-19
研究課題名	プラスチックの持続可能な資源循環と海洋流出制御に向けたシステム構築に関する総合的研究
研究実施期間	2021年度～2025年度
研究機関名	東北大学
研究代表者名	吉岡 敏明

## 1. 委員の指摘及び提言概要

本研究の意義は健全なプラスチック利用のための骨太のシステムを構築する、そのための関連する知見（成果）の集積とそれを使ったモデルを示すことであろう。当初計画に沿って、着実に研究が進展して、研究成果発表も行われているものと判断する。今後、特許申請などが想定されることから、バイオプラスチックなどを含めプラスチック循環利用に関わる企業との連携も視野に入れることが期待される。今後のプラスチックに関連する法律、制度、企業活動、市民等様々なステークホルダー向けの指針が得られると思うので、1枚の図ではなく、ステークホルダー毎の図に分けていただくと理解しやすいと思うため、ご検討いただきたい。5年間のプロジェクトなので、世の中での変化も極めて大きい。このため、常にキャッチアップをし、計画に反映するようにお願いしたい。

## 2. 採点結果

評価ランク：A